

# 令和4年度第2回草津市健幸都市づくり推進本部会議（論点整理）

## 草津市健幸都市づくりガイドブック素案について

### 1. 経緯

健幸都市づくりに関する次期計画（計画年次：令和5年度～）につきましては、去る2月の幹事会で骨子案等をお示しさせていただいたところですが、これまでの健幸都市づくり推進委員会での検討経過や理事者協議での議論等を踏まえ、以下のとおり内容を見直した上で、策定を進めております。

（1）第6次総合計画の将来ビジョンにおいて「健幸創造都市」を掲げ、全ての政策体系が「健幸都市づくり」に関連付けられたことから、今回、手段としての個別事業の位置付けは行わず、市が「健幸都市づくり」を進めていく上で共通する普遍的な理念や基本的な方向性を示す基本方針として策定する。

（2）現計画の総括でも、「健幸都市づくり」に関する周知（アピール）不足が課題であるとされており、策定のポイントは、本市が目指す「健幸都市」の「まち」や「ひと」の姿をいかに多くの人にイメージし、共感してもらえるかにある。そのため、今回、策定にあたっては、市民に「健幸」や「健幸都市づくり」を知って・共感して・行動していただくことに最も重点を置いて取り組んでおり、その内容を一人でも多くの人に気軽に手に取って見てもらえるよう「ガイドブック」という名称を用いる。

### 2. ポイント（※特に協議・審議を要する事項）

#### ■素案の審議

「健幸都市づくり」を発信する「ガイドブック」として下記の点のとおり内容等に過不足がないか御協議願います。

- ガイドライン（ガイドブック）として必要な情報が掲載されているか。
- 市民にとって読みやすく、親しみやすいコンテンツとなっているか。

- （1） 教えて、市長！（チャット形式による市民と市長の掛け合い）
- （2） 健幸都市づくり施策の方向性（市と市民とで健幸都市づくりのイメージの共有）
- （3） パッケージによる方向性の発信

パッケージ1 みんなではぐくむ健幸づくり	キャッチフレーズ1	全世代共通の健幸づくり
	キャッチフレーズ2	世代ごとの健幸づくり
パッケージ2 健幸につながるまちづくり	キャッチフレーズ1	支え合いによるまちづくり
	キャッチフレーズ2	行動変容につながるまちづくり

- （4） 草津市健幸都市づくり基本方針の概要（巻末で整理）  
⇒目標指標として、「健康寿命の延伸」および「幸福度」を設定